



米国のGreat Streetガイドラインを適用した 日本のシンボルロードの評価に関する研究

緑地計画学 古川 貴裕

第1章 研究の背景と目的

■背景

－近年の地球規模での環境問題、歩行や自転車利用への転換、参画型社会の進行など社会的背景の変化によって我が国のシンボルロードに求められる役割も変化しつつある。

－米国では2007年よりGreat Streetという類似した取り組みが実行され始めており現在の時代的背景を踏まえたものと評価できる。

■目的

米国のGreat Streetガイドラインを準用して我が国のシンボルロードを評価することによって街路整備における新たな課題を明確化させることを目的とする。

■論文の構成

第1章 研究の背景及び目的
Great Streetの解説と本研究で用いる評価項目の設定



第2章 関西を代表する御堂筋(大阪)、御池通(京都)、フラワーロード(神戸)、大小路筋(堺)を調査対象街路とし、その概要を整理した。



第3章 街路評価



第4章 本研究を通じた新たな整備課題の明確化

第1章 Great Streetについて

■Great Streetの概要

目的: アメリカ全土において優れた街路を選出し周知を図ることで、まちづくりの規範とし、その活動を促進すること

内容: Great Streetガイドラインを用いて、優れた街路を毎年10本、Great Streetとして指定・顕彰する。

実施主体: American planning Association
(米国都市計画家協会)

開始年度: 2007年度

過去に選出された街路: 50街路

第1章 Great Streetについて

■Great Streetの概要

目的: 世界中の都市で、

内容: 本、

実施主

開始年



North Michigan Avenue Chicago, Illinois (2007)

過去に選出された街路: 50街路

第1章 Great Streetについて

■Great Streetの概要

目的: 住民の活動を活性化させ、街の活性化と、

内容: 街の活性化、住民の活動の活性化、街の活性化、

実施主体: 街の活性化、住民の活動の活性化、街の活性化、

開始年: 街の活性化、住民の活動の活性化、街の活性化、

過去に: 街の活性化、住民の活動の活性化、街の活性化、



Washington Avenue, St. Louis, Missouri (2011)

第1章 Great Streetガイドラインの構成

①街路の形態と構成

②街路の個性と性格

③街路の環境と持続可能への取り組み

第1章 Great Streetガイドラインを準用した評価項目の設定

①街路の形態と構成

Great Streetガイドライン	評価項目
広い街路ネットワークへのアクセス性と接続性を説明できるか	街路ネットワーク
どの範囲まで街路はよく維持されているか、どのように安全性に対処しているか、活動や使用方法等、昼と夜との間に大きな格差はあるか？	維持管理のレベル 安全性
多様な利用者と多様な活動にどう対応しているか（例：連続していく遮るもののない通過レーン、道路を共有する区画わけ、交通を鎮める対策、広い歩道、中央分離帯、自転車レーン、その他）	横断構成
駐車場はどのように処理されているか	沿道アクセスの駐車場
ハードスケープやランドスケープ、ストリートファニチャー、他の物理的因素（サインやパブリックアート）が独特な個性を創出しているか	ハードスケープ 街路樹 ストリートファニチャー
物理的な特徴が、公共空間のセンスをどのように創出し獲得しているか	沿道の公共性
どのように社会の触れ合いに適応、又は奨励しているか、どのように社会的ネットワークを提供しているか、そこには日常的な歩行者の活動はあるか	民間の維持管理組織 着座装置

第1章 Great Streetガイドラインを準用した評価項目の設定

②街路の個性と性格

Great Streetガイドライン	評価項目
何が街路を際立たせているか、何が街路を並はずれたもの、記憶に残るものとしているか、どんな要素、特性、ディテイルが他の街路との違いを生んでいるか	街路を際立たせている特徴
街路の活性化と関連しているコミュニティの係り合いはどうか(祭、パレード、青空市場)	イベント
どの様に地域の文化や歴史を反映しているか	沿道の文化財
興味深い視覚経験、景観(ビスタ)、自然の特性、その他の特徴があるか、建物はどのように街路の視覚経験と公的領域に加えられるか	街路景観
建物間にスケールの一貫性があるか(建物がお互いに均整がとれているか)、建物はデザインされていて歩行者のために設計されているか	沿道建築のスケール
	沿道建築の一階部分の透過性

第1章 Great Streetガイドラインを準用した評価項目の設定

③街路の環境と持続可能への取り組み

Great Streetガイドライン	評価項目
どのように空気と水の質を改善し保護するのか、雨水の流出を最小化又は管理するのか(例:どれくらい木のカバーが供給されているか、グリーンインフラの他の形態はあるのか)	利用のルール
	ペイブメントの環境配慮特性
	緑の被覆度

第2章 調査対象街路の概要:御堂筋



商業地域

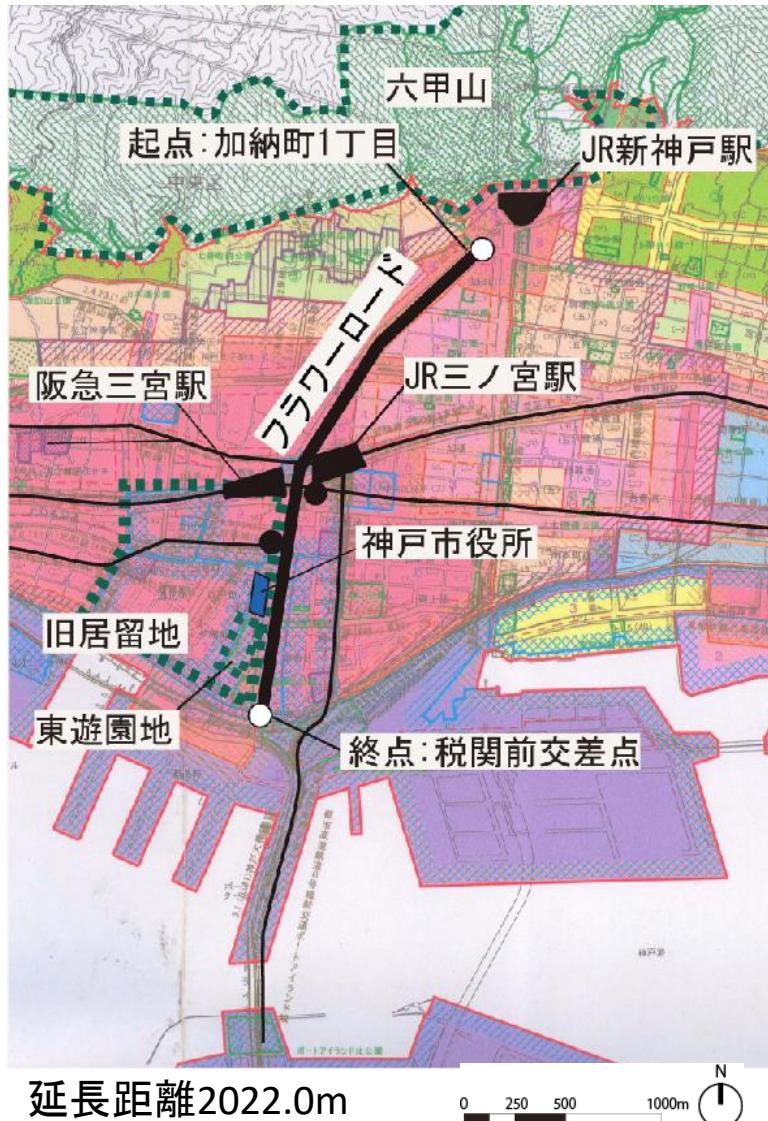


近隣商業地域

第2章 調査対象街路の概要:御池通

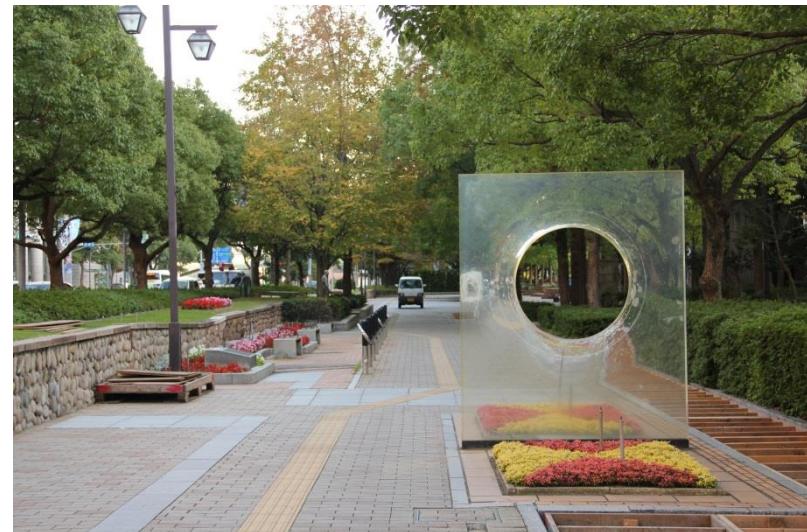


第2章 調査対象街路の概要: フラワーロード



商業地域

近隣商業地域



第2章 調査対象街路の概要:大小路筋



商業地域



近隣商業地域



第3章 街路の評価結果

①街路の形態と構成

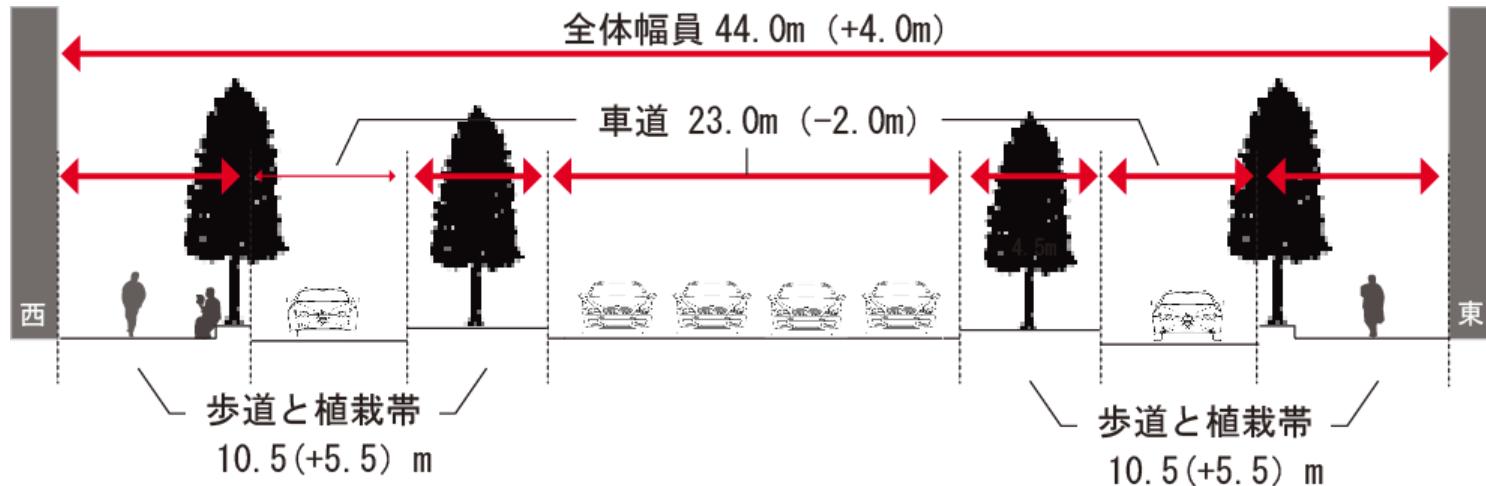
評価項目	評価対象	評価項目	評価対象
1.1 街路ネットワーク	接続する幹線道路数	1.5	ハードスケープ
1.2 維持管理のレベル	維持管理内容及び頻度		街路樹
	安全性		ストリートファニチャー
1.3 横断構成	典型横断と道路構造令に定められた標準横断との幅員との差	1.6	沿道の公共性
		1.7	民間の維持管理組織
1.4 沿道アクセスの駐車場	設置箇所数		着座装置

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		評価対象	評価項目		評価対象
1.1	街路ネットワーク	接続する幹線道路数	1.5	ハーデスケープ	ペイブメントのデザイン
1.2	維持管理のレベル	維持管理内容及び頻度		街路樹	巨樹(樹高10m以上かつ幹周1.0m以上)の混入率
	安全性	交差点における信号機の設置率		ストリートファニチャー	街灯と案内板及びパブリックアート
1.3	横断構成	典型横断と道路構造令に定められた標準横断との幅員との差	1.6	沿道の公共性	4m以上セットバックの間口長／公開性のある建築物の間口長
			1.7	民間の維持管理組織	内容／参加団体数
1.4	沿道アクセスの駐車場	設置箇所数		着座装置	ベンチと植枠及び駒止の着座可能人数

評価項目		御堂筋		御池通		フラワーロード		大小路筋	
1.3	横断構成	全体幅員(標準幅員との差)	歩道と植栽帯(標準幅員との差)	全体幅員(標準幅員との差)	歩道と植栽帯(標準幅員との差)	全体幅員(標準幅員との差)	歩道と植栽帯(標準幅員との差)	全体幅員(標準幅員との差)	歩道と植栽帯(標準幅員との差)
		44.0m(+4.0m)	10.5m(+5.5m)	50.0m(+10.0m)	12.0m(+7.0m)	50.0m(+10.0m)	西側15.0m(+10.0m)	30.0m(+10.0m)	9.0m(+4.5m)
1.6	沿道の公共性	4m以上セットバックの間口長	公開性のある間口長	4m以上セットバックの間口長	公開性のある間口長	4m以上セットバックの間口長	公開性のある間口長	4m以上セットバックの間口長	公開性のある間口長
		23.3%	55.3%	10.5%	47.3%	29.5%	49.1%	38.3%	36.0%
1.7	着座装置	42人/100m		42人/100m		27.6人/100m		8.4人/100m	

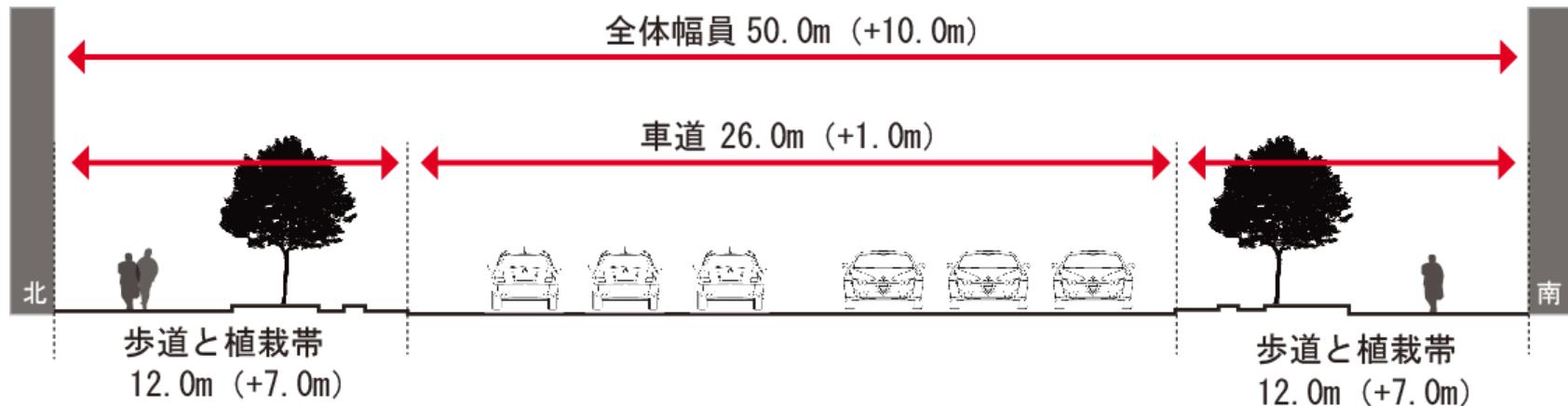
第3章 街路の形態と構成の評価結果



御堂筋の最も優先する典型横断面図

評価項目		御堂筋		御池通		フラワーロード		大小路筋	
1.3	横断構成	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)
		44.0m (+4.0m)	10.5m (+5.5m)	50.0m (+10.0m)	12.0m (+7.0m)	50.0m (+10.0m)	西側15.0m (+10.0m)	30.0m (+10.0m)	9.0m (+4.5m)
1.6	沿道の 公共性	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長
		23.3%	55.3%	10.5%	47.3%	29.5%	49.1%	38.3%	36.0%
1.7	着座装置	42人/100m		42人/100m		27.6人/100m		8.4人/100m	

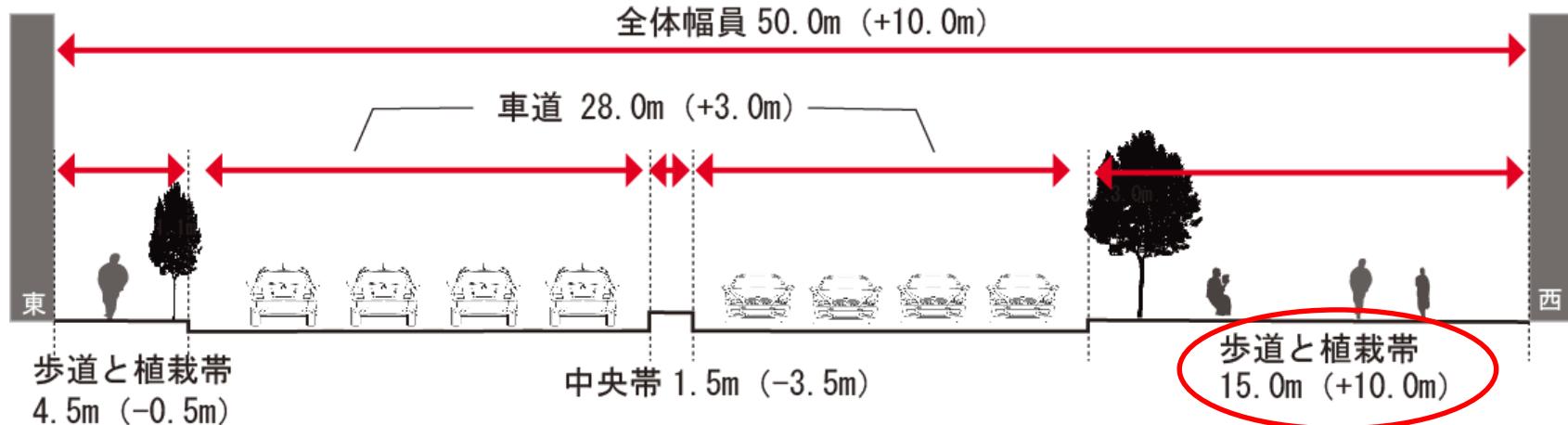
第3章 街路の形態と構成の評価結果



御池通の典型横断面図

評価項目		御堂筋		御池通		フラワーロード		大小路筋	
1.3	横断構成	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)
		44.0m (+4.0m)	10.5m (+5.5m)	50.0m (+10.0m)	12.0m (+7.0m)	50.0m (+10.0m)	西側15.0m (+10.0m)	30.0m (+10.0m)	9.0m (+4.5m)
1.6	沿道の 公共性	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長
		23.3%	55.3%	10.5%	47.3%	29.5%	49.1%	38.3%	36.0%
1.7	着座装置	42人/100m		42人/100m		27.6人/100m		8.4人/100m	

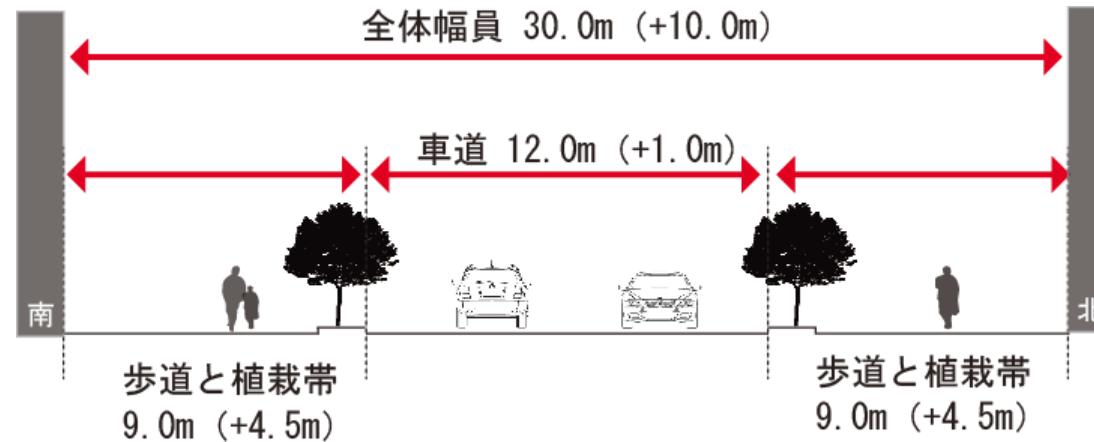
第3章 街路の形態と構成の評価結果



フラワーロードの最も優先する典型横断面図

評価項目		御堂筋		御池通		フラワーロード		大小路筋	
1.3	横断構成	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)
		44.0m (+4.0m)	10.5m (+5.5m)	50.0m (+10.0m)	12.0m (+7.0m)	50.0m (+10.0m)	西側15.0m (+10.0m)	30.0m (+10.0m)	9.0m (+4.5m)
1.6	沿道の 公共性	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長
		23.3%	55.3%	10.5%	47.3%	29.5%	49.1%	38.3%	36.0%
1.7	着座装置	42人/100m		42人/100m		27.6人/100m		8.4人/100m	

第3章 街路の形態と構成の評価結果



大小路筋の最も優先する典型横断面図

評価項目		御堂筋		御池通		フラワーロード		大小路筋	
1.3	横断構成	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)	全体幅員 (標準幅員との差)	歩道と植栽 帯(標準幅 員との差)
		44.0m (+4.0m)	10.5m (+5.5m)	50.0m (+10.0m)	12.0m (+7.0m)	50.0m (+10.0m)	西側15.0m (+10.0m)	30.0m (+10.0m)	9.0m (+4.5m)
1.6	沿道の 公共性	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長	4m以上セッ トバックの間 口長	公開性のあ る間口長
		23.3%	55.3%	10.5%	47.3%	29.5%	49.1%	38.3%	36.0%
1.7	着座装置	42人/100m		42人/100m		27.6人/100m		8.4人/100m	

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		評価対象	評価項目		評価対象
1.1	街路ネットワーク	接続する幹線道路数		ハードスケープ	ペイブメントのデザイン
1.2	維持管理のレベル	維持管理内容及び頻度	1.5	街路樹	巨樹(樹高10m以上かつ幹周1.0m以上)の混入率
	安全性	交差点における信号機の設置率		ストリートファニチャー	街灯と案内板及びパブリックアート
1.3	横断構成	典型横断と道路構造令に定められた標準横断との幅員との差	1.6	沿道の公共性	4m以上セットバックの間口長／公開性のある建築物の間口長
1.4	沿道アクセスの駐車場	設置箇所数	1.7	民間の維持管理組織	内容／参加団体数
				着座装置	ベンチと植枠及び駒止の着座可能人数

評価項目		御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
1.2	安全性	60.3%	50.0%	45.2%	25.9%
1.4	沿道アクセスの駐車場	2.7箇所/km	16.8箇所/km	13.4箇所/km	22.6箇所/km

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		評価対象	評価項目		評価対象
1.1	街路ネットワーク	接続する幹線道路数	1.5	ハーデスケープ	ペイブメントのデザイン
1.2	維持管理のレベル	維持管理内容及び頻度		街路樹	巨樹(樹高10m以上かつ幹周1.0m以上)の混入率
	安全性	交差点における信号機の設置率		ストリートファニチャー	街灯と案内板及びパブリックアート
1.3	横断構成	典型横断と道路構造令に定められた標準横断との幅員との差	1.6	沿道の公共性	4m以上セットバックの間口長／公開性のある建築物の間口長
			1.7	民間の維持管理組織	内容／参加団体数
1.4	沿道アクセスの駐車場	設置箇所数		着座装置	ベンチと植枠及び駒止の着座可能人数

評価項目		御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
1.5	ストリートファニチャー	各種アンティーク調の街灯の中に現代風のものが混入し、案内板も同様にデザインもバラバラで統一感がない。	街灯及び案内板は個性的なもので全体が統一されている。	街灯はアンティーク調のものや個性的なもの、ガス灯等が見られ、案内板もアンティーク調のものや各種の一般的なデザインが存在し統一感はない。	街灯は一部に個性的なデザインが見られ、案内板も個性的なものに加え各種一般的なデザインが見られることからやや統一感に欠けているといえる。

第3章 街路の形態と構成の評価結果



街灯



案内板

評価項目	御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
1.5 ストリートファニチャー	各種アンティーク調の街灯の中に現代風のものが混入し、案内板も同様にデザインもバラバラで統一感がない。	街灯及び案内板は個性的なもので全体が統一されている。	街灯はアンティーク調のものや個性的なもの、ガス灯等が見られ、案内板もアンティーク調のものや各種の一般的なデザインが存在し統一感はない。	街灯は一部に個性的なデザインが見られ、案内板も個性的なものに加え各種一般的なデザインが見られることからやや統一感に欠けているといえる。

第3章 街路の形態と構成の評価結果



各種デザインが混在する御堂筋の案内板

評価項目	御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
1.5 ストリートファニチャー	各種アンティーク調の街灯の中に現代風のものが混入し、案内板も同様にデザインもバラバラで統一感がない。	街灯及び案内板は個性的なもので全体が統一されている。	街灯はアンティーク調のものや個性的なもの、ガス灯等が見られ、案内板もアンティーク調のものや各種の一般的なデザインが存在し統一感はない。	街灯は一部に個性的なデザインが見られ、案内板も個性的なものに加え各種一般的なデザインが見られることからやや統一感に欠けているといえる。

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		評価対象	評価項目		評価対象
1.1	街路ネットワーク	接続する幹線道路数		ハードスケープ	ペイブメントのデザイン
1.2	維持管理のレベル	維持管理内容及び頻度	1.5	街路樹	巨樹(樹高10m以上かつ幹周1.0m以上)の混入率
	安全性	交差点における信号機の設置率		ストリートファニチャー	街灯と案内板及びパブリックアート
1.3	横断構成	典型横断と道路構造令に定められた標準横断との幅員との差	1.6	沿道の公共性	4m以上セットバックの間口長／公開性のある建築物の間口長
1.4	沿道アクセスの駐車場	設置箇所数	1.7	民間の維持管理組織	内容／参加団体数
				着座装置	ベンチと植枠及び駒止の着座可能人数

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		御堂筋	御池通		フラワーロード		大小路筋
1.2 公共の維持管理水平のレベル	車道	落下物回収等の一般清掃 3回/週 道路スイーパー3回/月	道路スイーパー2回/月		道路スイーパー1回/月		道路スイーパー4回/月
	歩道	市内の街路における重点清掃の対象地になっている、定期清掃がない	定期清掃がない		北半分: 1回/週 南半分: 人力清掃を毎日		人力清掃25回/月
	植栽帯	除草3回/年 低木の刈込1回/年	除草5回/年、 低木の刈込1回/年		北半分: 清掃1回/週、除草3回/年、低木の刈込3回/年、高木の剪定1回/3年等、 南半分: 清掃1回/日、灌水が夏場では1回/日で通年でも1回/週以上、施肥1回/年、除草6回/年、低木の刈込年6回、高木の剪定1回/3年		住民の要望に応じて 適宜対応
1.7 民間の維持管理組織	プログラム名	ボランティアサポートプログラム	街路樹 サポーター制度	御池通 スponサー花壇	花のまち神戸 ふれあい花壇	スponサー 花壇	堺市まち美化プログラム
	内容	清掃、植栽管理	落ち葉 清掃や 除草、 害虫発 生の報 告等	スpon サー: 一口3万 円の協 賛金	サポー ター: 花壇の 手入れ	協賛金: 年額5万	協賛金: 年額2万5千~
	参加団体数	3	3	52	17	15	6
						1	

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		御堂筋	御池通		フラワーロード		大小路筋
1.2 公共の維持管理水平のレベル	車道	落下物回収等の一般清掃 3回/週 道路スイーパー3回/月	道路スイーパー2回/月		道路スイーパー1回/月		道路スイーパー4回/月
	歩道	市内の街路における重点清掃の対象地になっている、定期清掃がない	定期清掃がない		北半分: 1回/週 南半分: 人力清掃を毎日		人力清掃25回/月
	植栽帯	除草3回/年 低木の刈込1回/年	除草5回/年、 低木の刈込1回/年		北半分: 清掃1回/週、除草3回/年、低木の刈込3回/年、高木の剪定1回/3年等、 南半分: 清掃1回/日、灌水が夏場では1回/日で通年でも1回/週以上、施肥1回/年、除草6回/年、低木の刈込年6回、高木の剪定1回/3年		住民の要望に応じて 適宜対応
1.7 民間の維持管理組織	プログラム名	ボランティアサポートプログラム	街路樹 サポーター制度	御池通 スponサー花壇		花のまち神戸 ふれあい花壇	スponサー 花壇
	内容	清掃、植栽管理	落ち葉 清掃や 除草、 害虫発 生の報 告等	スpon サー: 一口3万 円の協 賛金	サポー ター: 花壇の 手入れ	協賛金: 年額5万	協賛金: 年額2万5千~
	参加 団体数	3	3	52	17	15	6
						1	

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		御堂筋	御池通		フラワーロード		大小路筋
1.2 公共の維持管理水平のレベル	車道	落下物回収等の一般清掃 3回/週 道路スイーパー3回/月	道路スイーパー2回/月		道路スイーパー1回/月		道路スイーパー4回/月
	歩道	市内の街路における重点清掃の対象地になっている、定期清掃がない	定期清掃がない		北半分: 1回/週 南半分: 人力清掃を毎日		人力清掃25回/月
	植栽帯	除草3回/年 低木の刈込1回/年	除草5回/年、 低木の刈込1回/年		北半分: 清掃1回/週、除草3回/年、低木の刈込3回/年、高木の剪定1回/3年等、 南半分: 清掃1回/日、灌水が夏場では1回/日で通年でも1回/週以上、施肥1回/年、除草6回/年、低木の刈込年6回、高木の剪定1回/3年		住民の要望に応じて 適宜対応
1.7 民間の維持管理組織	プログラム名	ボランティアサポートプログラム	街路樹 サポーター制度	御池通 スponサー花壇	花のまち神戸 ふれあい花壇	スponサー 花壇	堺市まち美化プログラム
	内容	清掃、植栽管理	落ち葉 清掃や 除草、 害虫発 生の報 告等	スpon サー: 一口3万 円の協 賛金	サポー ター: 花壇の 手入れ	協賛金: 年額5万	協賛金: 年額2万5千~
	参加 団体数	3	3	52	17	15	6
						1	

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		御堂筋	御池通		フラワーロード		大小路筋
1.2 公共の維持管理水平のレベル	車道	落下物回収等の一般清掃 3回/週 道路スイーパー3回/月	道路スイーパー2回/月		道路スイーパー1回/月		道路スイーパー4回/月
	歩道	市内の街路における重点清掃の対象地になっている、定期清掃がない	定期清掃がない		北半分: 1回/週 南半分: 人力清掃を毎日		人力清掃25回/月
	植栽帯	除草3回/年 低木の刈込1回/年	除草5回/年、 低木の刈込1回/年		北半分: 清掃1回/週、除草3回/年、低木の刈込3回/年、高木の剪定1回/3年等、 南半分: 清掃1回/日、灌水が夏場では1回/日で通年でも1回/週以上、施肥1回/年、除草6回/年、低木の刈込年6回、高木の剪定1回/3年		住民の要望に応じて 適宜対応
1.7 民間の維持管理組織	プログラム名	ボランティアサポートプログラム	街路樹 サポーター制度	御池通 スponサー花壇		花のまち神戸 ふれあい花壇	スponサー 花壇
	内容	清掃、植栽管理	落ち葉 清掃や 除草、 害虫発 生の報 告等	スpon サー: 一口3万 円の協 賛金	サポー ター: 花壇の 手入れ	協賛金: 年額5万	協賛金: 年額2万5千~
	参加 団体数	3	3	52	17	15	6

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		御堂筋	御池通		フラワーロード		大小路筋
1.2 公共の維持管理水平のレベル	車道	落下物回収等の一般清掃 3回/週 道路スイーパー3回/月	道路スイーパー2回/月		道路スイーパー1回/月		道路スイーパー4回/月
	歩道	市内の街路における重点清掃の対象地になっている、定期清掃がない	定期清掃がない		北半分: 1回/週 南半分: 人力清掃を毎日		人力清掃25回/月
	植栽帯	除草3回/年 低木の刈込1回/年	除草5回/年、 低木の刈込1回/年		北半分: 清掃1回/週、除草3回/年、低木の刈込3回/年、高木の剪定1回/3年等、 南半分: 清掃1回/日、灌水が夏場では1回/日で通年でも1回/週以上、施肥1回/年、除草6回/年、低木の刈込年6回、高木の剪定1回/3年		住民の要望に応じて 適宜対応
1.7 民間の維持管理組織	プログラム名	ボランティアサポートプログラム	街路樹 サポート制度	御池通 スponサー花壇	花のまち神戸 ふれあい花壇	スponサー 花壇	堺市まち美化プログラム
	内容	清掃、植栽管理	落ち葉 清掃や 除草、 害虫発 生の報 告等	スpon サー: 一口3万 円の協 賛金	サポー ター: 花壇の 手入れ	協賛金: 年額5万	協賛金: 年額2万5千~
	参加 団体数	3	3	52	17	15	6

第3章 街路の形態と構成の評価結果

評価項目		御堂筋	御池通		フラワーロード		大小路筋
1.2 公共の維持管理水平のレベル	車道	落下物回収等の一般清掃 3回/週 道路スイーパー3回/月	道路スイーパー2回/月		道路スイーパー1回/月		道路スイーパー4回/月
	歩道	市内の街路における重点清掃の対象地になっている、定期清掃がない	定期清掃がない		北半分: 1回/週 南半分: 人力清掃を毎日		人力清掃25回/月
	植栽帯	除草3回/年 低木の刈込1回/年	除草5回/年、 低木の刈込1回/年		北半分: 清掃1回/週、除草3回/年、低木の刈込3回/年、高木の剪定1回/3年等、 南半分: 清掃1回/日、灌水が夏場では1回/日で通年でも1回/週以上、施肥1回/年、除草6回/年、低木の刈込年6回、高木の剪定1回/3年		住民の要望に応じて 適宜対応
1.7 民間の維持管理組織	プログラム名	ボランティアサポートプログラム	街路樹 サポーター制度	御池通 スponサー花壇	花のまち神戸 ふれあい花壇	スponサー 花壇	堺市まち美化プログラム
	内容	清掃、植栽管理	落ち葉 清掃や 除草、 害虫発 生の報 告等	スpon サー: 一口3万 円の協 賛金	サポー ター: 花壇の 手入れ	協賛金: 年額5万	協賛金: 年額2万5千~ 歩道の清掃
	参加 団体数	3	3	52	17	15	6

第3章 街路の個性と性格の評価結果

②街路の個性と性格

評価項目		評価対象
2.1	街路を際立たせている特徴	立地特性と街路構成、特に目立つ視覚要素
2.2	イベント	大規模なイベントの有無/住民団体の主催の有無
2.3	沿道の文化財	沿道の文化財の件数
2.4	街路景観	車道景観と歩道景観
2.5	沿道建築のスケール	沿道建築の間口長と階数
	沿道建築の一階部分の透過性	透過性有の間口長

第3章 街路の個性と性格の評価結果

評価項目		評価対象
2.1	街路を際立たせている特徴	立地特性と街路構成、特に目立つ視覚要素
2.2	イベント	大規模なイベントの有無/住民団体の主催の有無
2.3	沿道の文化財	沿道の文化財の件数
2.4	街路景観	車道景観と歩道景観
2.5	沿道建築のスケール	沿道建築の間口長と階数
	沿道建築の一階部分の透過性	透過性有の間口長

評価項目			御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
2.4	街路景観	車道	軒高の揃った高層ビル群や4列のイチョウ並木によるビスタの形成、アイストップとなる南海ビルが整然さや緑量感、個性を發揮している。	目立たない案内標識が整然さを創出し、軒高の揃ったビル群や樹高の揃ったケヤキの樹列に縁どられた東山への眺望が特徴的である。	連続した高層建築群や樹高の揃った樹列が整然としており特徴的である。	天蓋を覆うようなケヤキの樹列が緑の豊かさや個性を創出している。
		歩道	イチョウ並木が個性や緑の豊かさを創出しておりペイブメントや壁面線の整然さがそれらを助長している。	東山が見え、ペイブメントの落ち着いた雰囲気、シンプルな街灯などのデザインが個性や整然さを演出している。	東遊園地と一体化した歩道空間の存在やそこでのパブリックアートや花壇が個性を強調している。	広幅員歩道での大きいパブリックアート等が特徴的である。

第3章 街路の個性と性格の評価結果



イチョウ並木とアイストップとなる南海ビルによるビスタの形成



緑豊かなイチョウ並木と整然としたペイブメントと壁面

評価項目			御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
2.4	街路 景観	車道	軒高の揃った高層ビル群や4列のイチョウ並木によるビスタの形成、アイストップとなる南海ビルが整然さや緑量感、個性を発揮している。	目立たない案内標識が整然さを創出し、軒高の揃ったビル群や樹高の揃ったケヤキの樹列に縁どられた東山への眺望が特徴的である。	連続した高層建築群や樹高の揃った樹列が整然としており特徴的である。	天蓋を覆うようなケヤキの樹列が緑の豊かさや個性を創出している。
		歩道	イチョウ並木が個性や緑の豊かさを創出しておりペイブメントや壁面線の整然さがそれらを助長している。	東山が見え、ペイブメントの落ち着いた雰囲気、シンプルな街灯などのデザインが個性や整然さを演出している。	東遊園地と一体化した歩道空間の存在やそこでのパブリックアートや花壇が個性を強調している。	広幅員歩道での大きいパブリックアート等が特徴的である。

第3章 街路の個性と性格の評価結果



ビル群とケヤキに縁どられた東山への眺望



落ち着いたペイブメントや整然とした街灯

評価項目			御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
2.4	街路景観	車道	軒高の揃った高層ビル群や4列のイチョウ並木によるビスタの形成、アイストップとなる南海ビルが整然さや緑量感、個性を発揮している。	目立たない案内標識が整然さを創出し、軒高の揃ったビル群や樹高の揃ったケヤキの樹列に縁どられた東山への眺望が特徴的である。	連続した高層建築群や樹高の揃った樹列が整然としており特徴的である。	天蓋を覆うようなケヤキの樹列が緑の豊かさや個性を創出している。
		歩道	イチョウ並木が個性や緑の豊かさを創出しておりペイブメントや壁面線の整然さがそれらを助長している。	東山が見え、ペイブメントの落ち着いた雰囲気、シンプルな街灯などのデザインが個性や整然さを演出している。	東遊園地と一体化した歩道空間の存在やそこでのパブリックアートや花壇が個性を強調している。	広幅員歩道での大きいパブリックアート等が特徴的である。

第3章 街路の個性と性格の評価結果



連続した高層建築群や樹高の揃った樹列



東遊園地と一体化した歩道空間

評価項目			御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
2.4	街路景観	車道	軒高の揃った高層ビル群や4列のイチョウ並木によるビスタの形成、アイストップとなる南海ビルが整然さや緑量感、個性を発揮している。	目立たない案内標識が整然さを創出し、軒高の揃ったビル群や樹高の揃ったケヤキの樹列に縁どられた東山への眺望が特徴的である。	連続した高層建築群や樹高の揃った樹列が整然としており特徴的である。	天蓋を覆うようなケヤキの樹列が緑の豊かさや個性を創出している。
		歩道	イチョウ並木が個性や緑の豊かさを創出しておりペイブメントや壁面線の整然さがそれらを助長している。	東山が見え、ペイブメントの落ち着いた雰囲気、シンプルな街灯などのデザインが個性や整然さを演出している。	東遊園地と一体化した歩道空間の存在やそこでのパブリックアートや花壇が個性を強調している。	広幅員歩道での大きいパブリックアート等が特徴的である。

第3章 街路の個性と性格の評価結果



天蓋を覆うようなケヤキの樹列



広幅員歩道での大きいパブリックアート

評価項目			御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
2.4	街路景観	車道	軒高の揃った高層ビル群や4列のイチョウ並木によるビスタの形成、アイストップとなる南海ビルが整然さや緑量感、個性を発揮している。	目立たない案内標識が整然さを創出し、軒高の揃ったビル群や樹高の揃ったケヤキの樹列に縁どられた東山への眺望が特徴的である。	連続した高層建築群や樹高の揃った樹列が整然としており特徴的である。	天蓋を覆うようなケヤキの樹列が緑の豊かさや個性を創出している。
		歩道	イチョウ並木が個性や緑の豊かさを創出しておりペイブメントや壁面線の整然さがそれらを助長している。	東山が見え、ペイブメントの落ち着いた雰囲気、シンプルな街灯などのデザインが個性や整然さを演出している。	東遊園地と一体化した歩道空間の存在やそこでのパブリックアートや花壇が個性を強調している。	広幅員歩道での大きいパブリックアート等が特徴的である。

第3章 街路の個性と性格の評価結果

評価項目		評価対象
2.1	街路を際立たせている特徴	立地特性と街路構成、特に目立つ視覚要素
2.2	イベント	大規模なイベントの有無/住民団体の主催の有無
2.3	沿道の文化財	沿道の文化財の件数
2.4	街路景観	車道景観と歩道景観
2.5	沿道建築のスケール	沿道建築の間口長と階数
	沿道建築の一階部分の透過性	透過性有の間口長

評価項目		御堂筋				御池通				フラワーロード				大小路筋			
	評価項目	イベント名	行政	企業	住民団体	イベント名	行政	企業	住民団体	イベント名	行政	企業	住民団体	イベント名	行政	企業	住民団体
		御堂筋 オープン フェスタ	○	○	○	祇園祭	×	×	○	神戸 マラソン	○	×	×	堺まつり	○	×	×
2.2	イベント	御堂筋 KAPPO	○	○	×	おいけ フェスタ	○	○	○	神戸 まつり	○	×	×				
		大阪 マラソン	○	×	×												
2.3	沿道の文化財	4件				なし				1件				なし			

第3章 街路の個性と性格の評価結果

評価項目		評価対象									
2.1			立地特徴	大規模な複数階建		大江橋及び淀屋橋					
2.2			評議会場	池通	行政	企業	住民団体				
2.2			大阪マラソン	○	×	×	○	○	○	○	○
2.3	沿道の文化財	4件	なし	1件	なし						

第3章 街路の個性と性格の評価結果

評価項目		評価対象
2.1	街路を際立たせている特徴	立地特性と街路構成、特に目立つ視覚要素
2.2	イベント	大規模なイベントの有無/住民団体の主催の有無
2.3	沿道の文化財	沿道の文化財の件数
2.4	街路景観	景観
2.5	沿道建築のスケート	スケートと階数
	沿道建築の一階部分	口長

評価項目		御堂筋			大小路筋			
評価項目	評価対象	御堂筋			大小路筋			
		イベント名	行政	企業	住民団体	イベント名	行政	企業
2.2	イベント	イベント名	行政	企業	住民団体	イベント名	行政	企業
		御堂筋オープンフェスタ	○			御堂筋マラソン	○	×
		御堂筋KAPPO	○	○	×	おいけフェスタ	○	○
		大阪マラソン	○	×	×	神戸まつり	○	×
2.3	沿道の文化財	4件			なし	1件		
						なし		



第3章 街路の環境と持続可能への取り組みの評価結果

③街路の環境と持続可能への取り組み

評価項目	御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
利用ルール	自転車放置禁止区域／全域	駐輪禁止／全域	路上喫煙禁止／三宮の高架下-市役所前(約450m)	路上喫煙禁止区域／全域
	路上喫煙禁止区域／全域	路上喫煙禁止／烏丸通-河原町通(約850m)	自転車・原付放置禁止区域／三ノ宮駅周辺(約200m)	自転車・ミニバイク放置禁止区域／駅を中心に概ね300m
ペイブメントの環境配慮特性	歩道	車道	歩道	車道
	表面排水	表面排水	透水性	透水性
緑の被覆度	35.3%	8.2%	12.2%	27.6%

第3章 街路の環境と持続可能への取り組みの評価結果

③街路の環境と持続可能への取り組み

評価項目	御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
利用ルール	自転車放置禁止区域 ／全域	駐輪禁止／全域	路上喫煙禁止／三宮の高架下-市役所前(約450m)	路上喫煙禁止区域／全域
		路上喫煙禁止／烏丸通-河原町通(約850m)	自転車・原付放置禁止区域／三ノ宮駅周辺(約200m)	自転車・ミニバイク放置禁止区域／駅を中心に概ね300m
	路上喫煙禁止区域／全域	美化推進強化区域／全域 自転車の車道側通行の推奨／全域	ポイ捨て禁止重点地区／三ノ宮駅周辺-税関前交差点(約800m)	自転車の車道側通行の推奨／全域
ペイブメントの環境配慮特性	歩道	車道	歩道	車道
	表面排水	表面排水	透水性	透水性
緑の被覆度	35.3%	8.2%	12.2%	27.6%

第3章 街路の環境と持続可能への取り組みの評価結果

③街路の環境と持続可能への取り組み

評価項目	御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
利用ルール	自転車放置禁止区域 ／全域	駐輪禁止／全域	路上喫煙禁止／三宮の高架下-市役所前(約450m)	路上喫煙禁止区域／全域
		路上喫煙禁止／烏丸通-河原町通(約850m)	自転車・原付放置禁止区域／三ノ宮駅周辺(約200m)	自転車・ミニバイク放置禁止区域／駅を中心に概ね300m
	路上喫煙禁止区域／全域	美化推進強化区域／全域 自転車の車道側通行の推奨／全域	ポイ捨て禁止重点地区／三ノ宮駅周辺-税関前交差点(約800m)	自転車の車道側通行の推奨／全域
ペイブメントの環境配慮特性	歩道	車道	歩道	車道
	表面排水	表面排水	透水性	透水性
緑の被覆度	35.3%	8.2%	12.2%	27.6%

第3章 街路の環境と持続可能への取り組みの評価結果

③街路の環境と持続可能への取り組み

評価項目	御堂筋	御池通	フラワーロード	大小路筋
利用ルール	自転車放置禁止区域 ／全域	駐輪禁止／全域	路上喫煙禁止／三宮の高架下-市役所前(約450m)	路上喫煙禁止区域／全域
		路上喫煙禁止／烏丸通-河原町通(約850m)	自転車・原付放置禁止区域／三ノ宮駅周辺(約200m)	自転車・ミニバイク放置禁止区域／駅を中心に概ね300m
	路上喫煙禁止区域／全域	美化推進強化区域／全域 自転車の車道側通行の推奨／全域	ポイ捨て禁止重点地区／三ノ宮駅周辺-税関前交差点(約800m)	自転車の車道側通行の推奨／全域
ペイブメントの環境配慮特性	歩道	車道	歩道	車道
	表面排水	表面排水	透水性	透水性
緑の被覆度	35.3%	8.2%	12.2%	27.6%

第4章 本研究を通じた整備課題の明確化

①街路の形態と構成

- 沿道駐車場の制限や沿道建築物の公共性の確保、セットバック空間導入など多様な歩行者利用を活性化させる点がまだまだ改善の余地がある。
- 歩道や植栽帯の定期的な管理の欠落など持続可能性を高めるための維持管理上の課題がある。
- 車道景観、歩道景観とも一定以上の評価がされるが、ストリートファニチャーのデザインの統一性の欠如といった課題も認められる。

第4章 本研究を通じた整備課題の明確化

②街路の個性と性格

- 4街路ともに街路景観において一定の特徴を発揮している点が評価できる。
- 文化財の分布状況にも見られたように沿道における歴史的建造物が非常に少なく歴史性の継承といった課題が明らかとなった。
- また、集客性の高いイベントが一定以上導入されているもののイベントへの企業や市民の参画機会を提供するといった課題も認められる。

③街路の環境と持続可能への取り組み

- 雨水流出の抑制による都市型洪水の抑制といった課題やヒートアイランド対策が世界の先進都市で取り組まれようとしている中で、4街路ともそれへの対策の遅れが指摘できる。